

# 災害に強く安全安心に暮らせるまちづくり



**【設置・建物の概要】**  
 建設地：ひたちなか市大字馬渡字前原2184番1 (旧勝田清掃センター跡地)  
 敷地面積：8,102.55㎡ (約2,455坪) 延床面積：1,140㎡ (約345坪)  
 建物の構造：鉄骨造1階建て 整備費：206,052千円 (予定)  
 主な集中備蓄品：保存水、アルファ米、毛布、プラスチック製簡易仕切り、簡易ベッド、折り畳みテント、アルミ保温シート、発電機等



**北原 祐二**  
 ひたちなか市議会  
 (日立Astemo労組/佐和支部)

ひたちなか市には、59ヵ所の指定避難所があります。東日本大震災以降は、各避難所に防災倉庫を設置し、災害初動時に必要な非常食や保存水、資機材等を分散備蓄しています。

さらに、指定避難所での分散備蓄と併せて、長期化を想定した物資の集中備蓄や各地から送られてくる救援物資など、スムーズな受け入れや荷捌きおよび搬出スペースを備え、災害時における物流の拠点となるよう、現在、旧勝田清掃センター跡地に基幹的防災備蓄倉庫を建設しており、令和3年度中の供用開始に向けて整備が進められています。

また、建設地においては、緊急輸送道路に指定されている県道水戸那珂湊線に接しており、ひたちなかインターチェンジや国道245号線にも近く、物流搬送の利便性が高い立地場所になっています。

今後は、物資の需要と供給バランスの調整や物資拠点の適切な運営および輸送車両の確保など、現在ある対応マニュアルの改訂も進める計画です。

日新クラブでは、これからも災害への備え、そして防災・減災の取組みを推進し、安全安心に暮らせるまちづくりに努めていきます。



**日立グループ議員団幹事長 伊藤 健也**  
 日立市議会 (日立GLS労組多賀支部)

幹事長の主張!

日頃から日立グループ議員団の各種活動に対し、ご支援とご指導を頂いておりますことに感謝申し上げます。

令和3年10月に執行されました「第49回衆議院議員選挙」において2期目の挑戦となる浅野さとし候補が、茨城5区小選挙区で勝利することができました。引き続き、浅野議員の掲げる各種

## 国と地方が一体となった取組みを進める

の政策に対し、情報交換を密にしながらサポートしていきたいと考えております。

衆院選公示期間中の10月24日投票で「安来市議会議員選挙」が施行され、澤田秀夫候補と原瀬清正候補が立候補し、それぞれ再選を果たすことができました。引き続き、地域における課題への対応と将来を見据えた活動の展開をお願い致します。

本年7月には参議院議員選挙が予定されておりますが、既に電機連合所属「矢田わか子」参議院議員2期目の当

選に向けた活動がスタートしております。厳しい選挙戦が予測されておりますが、日立グループ連合の総力を結集した中における支援拡大など、最大限のご協力をお願い致します。

日立グループ議員団会議として浅野さとし会長を含め27名の議員が今まで以上に連携を図りながら、国と地方が一体となった取組みを進めて行く所存ですので、引き続きよろしくお申し込み申し上げます。

### 第26回参議院議員選挙 電機連合組織内公認候補



# 矢田わか子



あなたと動けば未来は変わる。

こちらから「矢田わか子」の政策をご覧ください



公式HP



YouTube

## 今号の読みどころ

- 議員団レポート…(茨城県議会、栃木市議会、日立市議会、尾張市議会、ひたちなか市議会) **P2~4**
- 幹事長の主張…国と地方が一体となった取組みを進める **P4**
- 浅野衆議院議員・国政レポート…皆さんとともに2期目スタート! ワンチームで掴んだ小選挙区当選

## 浅野さとし衆議院議員・国政レポート

# 皆さんとともに2期目スタート! ワンチームで掴んだ小選挙区当選



日立グループ議員団会長  
 衆議院議員 浅野 さとし

年が明け、2022年が始まりました。昨年も日立グループ連合の皆様には多くの声を届けていただき感謝申し上げます。特に第49回衆議院総選挙では、日立グループの総力を挙げて過去に類を見ない取組みを展開して頂いただけでなく、他業種の皆様や茨城5区の住民の皆様など幅広い方々がワンチームとなって闘った結果、前回票を上回る61,373票を獲得し、念願の小選挙区当選を果たす事ができました。皆様からいただいたご支援と得票の重みを受け止め、一層気を引き締めて2期目に臨みます。



特別国会招集で初登院

今期も政策の実現に向けて全力を尽くしてまいります!



## コロナ対策と経済再興の両立にむけて

昨年来、私は矢田わか子参議院議員とともにコロナ禍を乗り切るためには三密回避だけでは不十分と考え、①ワクチン接種による免疫獲得、②無償かつ大規模コロナ検査による早期発見&拡散防止、③デジタルパスポートによる感染リスク管理と行動制御という3つの対策を主張しました。ワクチン接種以外の2つに対し、当初、政府は消極的でしたが、ポスト・コロナの社会で必要となる取組みであることが徐々に浸透していき、令和4年度の政府予算案にはコロナ検査の無償化やワクチン・検査パッケージ(デジタル陰性証明)の予算が計上される見通しです。野党提案であっても正しい政策を正しく主張すれば政府に採用されるのです。今後も私たちの政策の実現にむけて着実に、丁寧に取組みます。

## 矢田議員2期目の活躍が大命題

今年7月には第26回参議院議員選挙が予定されており、電機連合出身の矢田わか子議員が2期目に挑戦します。矢田議員はパナソニックグループ労連で副中央執行委員長などを歴任し、働く仲間のためにこれまで全力で活動してきました。最初の選挙の時、民進党では計11議席を獲得、矢田議員も21万5,823票を獲得し3番目の成績で当選しました。しかし今回は国民民主党での挑戦です。矢田議員の政策を応援してくれる人を、全国的に増やしてかなければなりません。私も全力を尽くしてまいります。

## 県政だより



二川 英俊  
茨城県議会  
(日立労組/水戸支部)



日曜議会



青空対話議会

## 議会改革推進中!

茨城県議会では令和3年度取組みとして議会改革推進会議を立ち上げ、より身近に感じられる議会、ICT化の促進による審議の充実・効率化に取り組んでいます。

特に、県民の議会活動への参画意識の醸成を充実させるため、学生向けには県内大学との連携協定の締結や議員との意見交換、高校生の議会傍聴の際の議員との意見交換などを適宜実施していくことになります。また、議会として県民の意見を聴く取組みとして、「県民との青空対話議会」や住民モニター制度等を導入し、様々な分野の県民から直接対話による広聴機能の強化

を図ります。

12月の第4回定例会では、普段は平日に行っている議会への県民参加を促進するため、休日議会を開催し、日頃は仕事や学業などで議会に來れない多くの方に議会傍聴へ参加いただきました。休日議会については職員の負担なども考え開催の仕方や頻度を検討する必要がありますが、参加しやすい議会、身近に感じる議会をめざしてこれからも取り組んでまいります。

皆様も是非、住んでいる自治体の議会へ足を運び、様々な意見をお寄せください。

## 議会改革推進会議

## 動画での議会報告



動画による議会報告を今後も継続する栃木市議会

昨年コロナ禍の影響で、対面での議会報告会の開催ができなくなっています。そこで、動画による議会の活動内容や報告の概要を栃木市のホームページやYouTubeを使って公開しています。

昨年は、3本の動画を作成しました。1本目は、議会はどんな事しているのか、2本目は、議会報告会とはどういうものであるか、3本目は報告会で頂いている意見をどのように活かしているのかを述べています。千葉は3本目に登場しています。この動画のインタビュアーは、國學院の短大生と2人の社会人でしたが、3人ともしっかりとした考えをお持ちの女性でした。

今年は、実際の報告内容の動画を2本作成しました。新型コ

## コロナ禍だからこそ の発想で



千葉 正弘  
栃木市議会  
(日立GLS労組/栃木支部)

コロナウイルス感染症への対応と議員定数の削減を含む議会改革についてです。今年の動画への参加は、地元の栃木商業高校の生徒にお願いしました。この高校生たちとは、その後リモートにより地元の観光地の活性化や街づくりについて、意見交換会も行っています。

昨年行っている、動画を使った議会活動の報告の趣旨は、いかに若い人たちに政治への興味を持ってもらうかを考えた結果でした。コロナ禍であったことからの発想ではありますが、今後は行政も議会も情報のあり方、伝え方を工夫していくことが大切であることを再認識するものとなりました。

## 市政だより

## 地域周産期母子医療センターの再開

長年、日立市内のハイリスク分娩を担ってきた日立製作所日立総合病院地域周産期母子医療センターは、産科医師の確保が難しい状況から、平成21年4月以降休止していました。今般、県をはじめとした関係機関との協議を経た中で、産科医師や小児科医師が確保されたことから新生児集中治療室(NICU)の3床を整備し、令和3年4月1日から新生児の搬送受入れに限定して再開されました。

この再開により、市民の市内医療機関における出産割合は、令和3年1月から8ヵ月で285人、50.3%となり、再開前である令和2年の421人、45.9%から4.4%増加しました。

現在、令和4年4月からハイリスク分娩の母体搬送受入れにも対応できる周産期医療体制の構築をめざし、本市を含め茨城県や日立総合病院と連携を図り、筑波大学等に対し更なる医師派遣の要請を行っています。



NICU内の様子



粕谷 圭  
日立市議会  
(昭和電工メテリアルズ労組/山崎支部)

## 安心して 出産できる環境づくり

民主クラブとしては、市内で出産を望む市民ニーズに対応するため、今後、さらなるNICU増床を含め、市民が安心して出産できる環境づくりに取り組んでまいります。

## 市政だより



堀江 紀和  
日立市議会  
(日立パワー労組)



多くの子どもで賑わう

## 安全な放課後環境の整備

少子化が進む中でも女性の就業率向上等を背景に需要が増え続ける、共働き家庭等の児童を対象とした「放課後児童クラブ」や、希望するすべての児童を対象とした「放課後子ども教室」は、地域住民の参画を得て様々な交流活動等を行っており、放課後に適切な遊びや生活の場を提供しています。

## 放課後児童対策

日立市における「放課後児童クラブ」では、土日を含めた開設時間の延長などのサービス拡充が課題である一方、「放課後子ども教室」では、一部の小学校に開設が留まる上、週1回程度の開設であり、さらにはスタッフ不足により利用希望者の全員を受け入れられない課題があります。

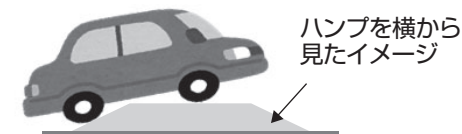
そこで、本市では令和4年度の事業化に向け、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の運営を一体的に行った上で、高い専門性や豊富なノウハウを持ち、安定した運営に不可欠な人材の確保と、サービスの質的向上が期待できる民間事業者への同時委託の検討を進めています。事業化によって、希望するすべての児童が安心・安全に過ごせる放課後の環境整備が図られます。

民主クラブとしては、民間委託後の運営を注視しながら、さらなる放課後児童対策の充実を図るとともに、保護者が安心して働き続けられる環境の整備に取り組んでまいります。

## ハンブの実証実験



実証実験が行われたハンブ



ハンブを横から見たイメージ

## 交通事故から子供たちを守るために

全国各地で発生する登下校中の悲しい交通事故。事故から子どもたちを守るために、物理的に車両の速度を減速させるハンブ(道路のコブ)の実証実験が1ヵ月間行われました。設置した場所は、朝夕の交通量が多い住宅街の通学路。地域の自治会や各議員の要請もあり、尾張旭市が愛知県警や愛知県と連携し実施に至りました。現在、GPS機能を使った減速の効果・検証を行っています。今後、市内の他自治会へもハンブの周知や検証結果の報告も予定されており、ハンブの実証実験が各地で行われ、効果が確かめられることを期待しております。

私の最終的なゴールは、市内全域のゾーン30エリア(速度制限30kmの地区)に、ハンブが効果的に設置され、速度超過による交通事故から子どもたちや歩行者を守ることです。なお、尾張旭市は、3年近く交通死亡事故は発生しておらず、交通事故の発生率も車社会の愛知県内では下から数えたほうが早い自治体です。市民の交通安全に対する意識の高さや、行政による地道な努力によるものだと考えております。私も微力ではありますが、少しでも交通安全に貢献できるよう職責を果たします。

## 市政だより



市原 誠二  
尾張旭市議会  
(日立労組/旭支部)